

2011年05月19日
東北区水産研究所資源海洋部

茨城会瀬ブイの回収について

東北地方太平洋沖地震によって発生した津波により、東北ブロック沿岸水温速報 (<http://tohokubuoy.net.myg.affrc.go.jp/Vdata/>) に用いている計測ブイの多くが被害を受けた（被害状況の詳細については <http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/kaiyoubu/gyokaikyo/shinsai/index.html> を参照のこと）。

茨城県会瀬には、水温計ブイ（茨城県水産試験場所有）と流速計ブイ（水産総合研究センター所有）が設置してあり、どちらも震災後もデータを送信していたが、茨城県水産試験場回遊性資源部小日向寿夫主任が現場を確認したところ、水温ブイの位置がずれ、また漂流物が絡まった状態にあることがわかった。流速計ブイの位置はずれておらず、外見上は破損は確認できなかったが、一度引き上げて状態を確認する必要があると考えられた。

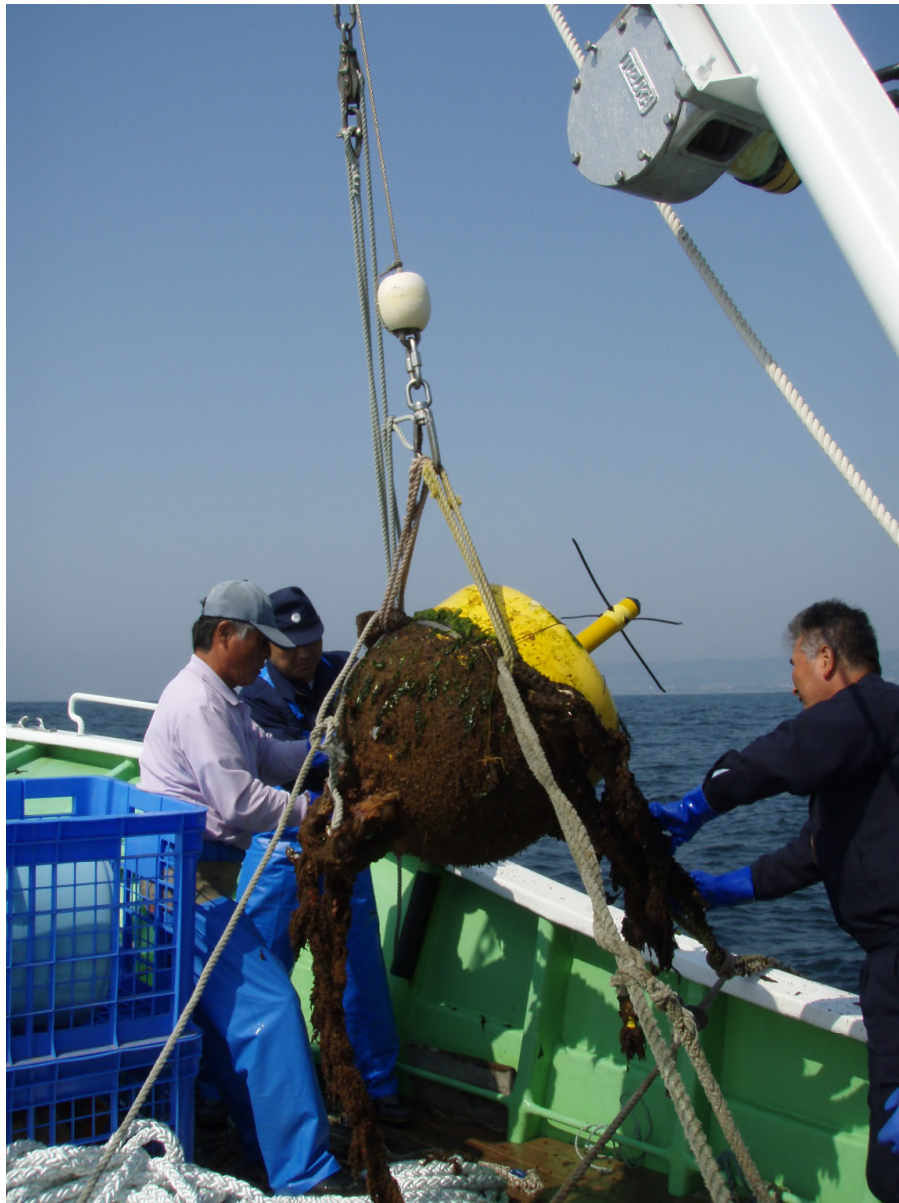
このため、5月19日に茨城県水産試験場回遊性資源部小日向寿夫主任が両ブイの回収を行った。流速計ブイは回収でき、確認したところ、ブイ本体が損傷し、内部の白い浮体が露出していることがわかった（写真参照：写真提供小日向寿夫主任）。

一方、水温計ブイは、係留ロープが絡まった状態にあり、そのロープの絡まりは解くことができたが、センサーケーブル側も土俵（400 kg）側も引き上げることができなかった（写真参照）。原因は不明だが、何かに引っかかっている可能性がある。

回収した流速計ブイは、不定期に異常値を出す問題があるため、異常値が発生する原因を調べ、修理を行ってから再度設置を検討する予定。

謝辞：ブイ回収をして頂いた小日向寿夫主任を初めとする茨城県水産試験場の方々に感謝する。また、ブイの状況を管理して頂いていた会瀬漁協の皆様に感謝の意を表すとともに被災された方々に深くお見舞い申し上げます。

会瀬潮流観測ブイ回収作業-1 (2011年5月19日)



クレーンで吊り上げて回収



係留ロープ

会瀬潮流観測ブイ回収作業-2(2011年5月19日)



全景



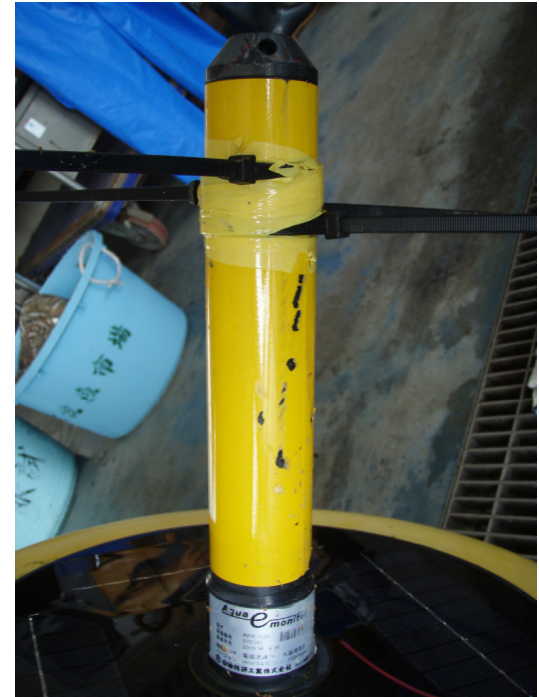
ブイ本体の傷



センサー部



太陽電池パネル部



アンテナ部

会瀬水温観測ブイ確認(2011年5月19日)



ロープの絡まり1



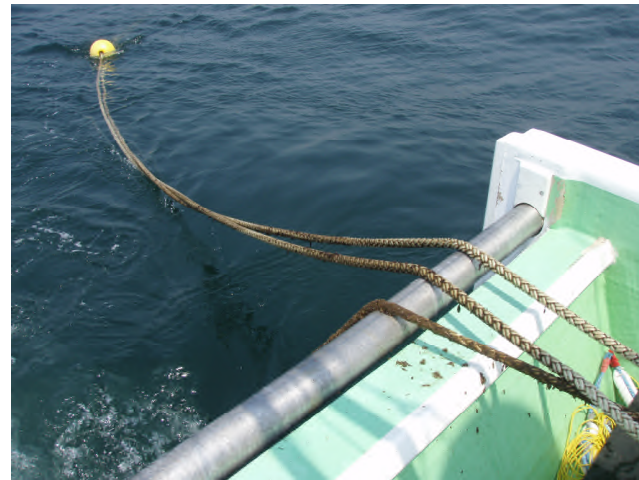
ロープの絡まり2



船上に揚げる



センサーが揚らない



絡まりが解けた



引き上げ断念